

# インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) アジアダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) サリーゼミ
亜細亜大学	経営学部	サリーゼミ

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) エンプティ ハウス	フリガナ) オカダ レイ	6	無	
Empty House	岡田 励			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

## 研究テーマ (発表タイトル)

増え続ける日本の空き家と活用方法

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

### 1. 研究概要 (目的・狙いなど)

近年では少子高齢化により、社会保障費の増大や年金の値段の減少、最近では高齢者の方の交通事故などが多くニュースで取り上げられ日本の問題点となっているが、あまり知られていないところで空き家の問題も大きくかかわっており問題となっている。

空き家で問題となっているのが、老朽化による倒壊や景観の悪化、放火などによる火災などが上げられる。また都内に多くある空き家を有効活用することが出来れば日本の成長につながると考え、今回私たちは空き家問題の解決を目的とし活用方法などを考えた。

### 2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在日本には数多くの空き家が存在するが、地方と比べて都市部における空き家率は少ない傾向にある。しかし都市部にある空き家への需要は多くあると考える。また都市部の空き家は活用方法も多くあり様々な発展が期待できる。

空き家が増える原因としては、少子高齢化問題を抱える日本にて都市開発が進み、新築が多く増え新築に移り住む傾向があり自然と空き家が増えている。それ以外にも空き家になるうえで相続の問題が発生し、次に誰が管理するのかを決めずに家主が亡

くになってしまうケースがある。

倒壊寸前の空き家や管理が行き届いていない家などには、国のほうから秋や対策特別措置法により行政指導などを行っているが、現状で再び使うことができるような家に関しては、活用されていない放置されている空き家になっているため、資源の無駄凶解になっている。

### 3. 研究テーマの課題

日本全体の少子高齢化や新築の増加。また空き家にかかる税金などのお金を支払うことが出来なくなり放棄されてしまうことがある。ほかにも相続先や活用方法が不明確になっていることから、空き家になる前に対策を立てることが出来ない。

また、空き家に関して危機感を覚える人が日本全体として少ない。

### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

空き家を減らし有効活用するためには、今後空き家になりうる家の持ち主に対して空き家の活用方法や空き家が今後もたらす災害や社会問題などを事前に告知する必要がある。また活用方法についても地域によってさまざまのため、地域一帯で考えていく必要がある。活用方法の例としては、会社のオフィスよりも小さく地域に多くある空き家をひとつの職場にし、家から近いワーキングブレイスにすることや、待機児童が多い日本でお子様の一時的預かり所としての有効活用など様々である。

### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

空き家の管理や、受け渡しなどを行う仲介企業に直接現状などを聞き込み、実際に空き家を使って新しい取り組みを行っている方にインタビューを行い対策や現状などを伺った。

### 6. 結果や今後の取り組み

現状としては、空き家の件数が年々増加しているため、これ以上の空き家を減らすことは厳しい結果となっている。

そのため空き家の相続や活用について考え、対策をしている人たちの年代が非常に若く、70代以上の人たちが活用方法などについて認知している人たちが少ない。また最近ではインターネットが普及し高齢者の人たちが空き家の活用について知る機会を多く作り、空き家の活用について一人一人が考えていかなければならない

### 7. 参考文献

<http://www.akisapo.jp>

空き家活用サポート アキサポ

<https://o-uccino.com/front/articles/48457>

オウチーノニュース

<https://www.akiya-akichi.or.jp/>

NPO 法人空き家・空地管理センター

#### <企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ **ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください**